

こんしゅう いの たいさいせつだい しゅじつとくとう
今週のお祈り 大齋節第3主日特禱

ぜんのう かみ よ、どうかあなたをよもと しもべ の願いをみ
心にと ちから て て ささ の でき ふせ くだ
心に留め、力あるみ手を差し延べてすべての敵を防いで下
さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

今週の聖書 ヨハネによる福音書 4:5-26、39-42

5 それで、イエスはヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に来られた。6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。7 サマリアの女が水を汲みに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。8 弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。9 すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女の私に、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際していなかったからである。10 イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水をください』と言ったのが誰であるかを知っていたならば、あなたのほうから願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう。」「11 女は言った。」「主よ、あなたは汲む物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生ける水を手にお入れになるのですか。12 あなたは、私たちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸を私たちに与え、彼自身も、その子どもや家畜も、この井戸から飲んだのです。」「13 イエスは答えて言われた。」「この水を飲む者は誰でもまた渇く。14 しかし、私が与える水を飲む者は決して渇かない。私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。」「15 女は言った。」「主よ、渇くことがないように、また、ここに汲みに来なくてもいいように、その水をください。」「16 イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われると、17 女は答えて、「私には夫はいません」と言った。イエスは言われた。『夫はいません』というの、もっともだ。18 あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたの言ったことは本当だ。」「19 女は言った。」「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。20 私どもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」「21 イエスは言われた。」「女よ、私を信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない



せいしょ せいしょ
聖書からのメッセージ

しつじ りん ぶんけん
執事 林 汶慶

のどがカラカラになったとき、お水を飲むと「生き返った!」と思う経験があるはず。でもしばらく時間が経つと、またのどが渇いてしまう。今日のお話に出てくる女の人も、心の中に「寂しさ」や「不安」という、のどの渇きのようなものを抱えていた。一度消えたと思っても、またすぐにおそって来る。

そんな彼女に、イエスさまは言った。「私が与える水を飲む人は、もう二度と渇かない。その水は、その人の心の中で泉になるんだよ」と。

イエスさまの愛を知った彼女は、イエスさまを信じた。すると、彼女の心の中に「喜び」という水がわき上がって、寂しさや不安な気持ちが消えてしまったのだ。

イエスさまは、今日もわたしたちの心に、この水を与えてくださる。皆さんも、イエスさまからこの命の水をもらって、心の中に喜びの泉をわき出させてもらおう。

所で、父を礼拝する時が来る。22 あなたがたは知らないものを礼拝しているが、私たちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。23 しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真実をもって父を礼拝する時がその時である。父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。24 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならぬ。」「25 女は言った。」「私は、キリストと呼ばれるメシアが来られることを知っています。その方が来られるとき、私たちに一切のことを知らせてください。」「26 イエスは言われた。」「あなたと話をしているこの私が、それである。」「39 さて、町の多くのサマリア人は、「あの方は、私のしたことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。40 そこで、サマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところに滞在してくださるように願った。イエスは、二日間そこに滞在された。41 そして、さらに多くの人が、イエスの言葉を聞いて信じた。42 彼らは女に言った。」「私たちが信じるのは、もうあなたが話してくれたか